



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和5年8月24日  
第654号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人

## 「楽しくカー杯」の2学期へ、まずはスタートを大切に!

### 「遊ぶときには遊び、やるときにはやる」

社会人としては当たり前、大人として当たり前のことなのですが、これも苦手です。私、夏季休暇に入っても、初日から休み明けのことを考えて憂鬱になるタイプの人間です。教諭のころも休暇申請を出しているのに学校に来てみては、掃除をしたり教室のワックスがけをしたりしていました。もちろん、きれいな教室で新学期を迎えさせてやりたいということもあるのですが、それ以外にも理由がありました。その理由を知らない先生たちは、「真面目だなあ」と勘違いするのですが、実はそうではないのです。休み明けに憂鬱で出勤できないかもしれない、何とか出勤できても仕事に身が入らなくなってしまうと容易に想像できたからです。それに勝つための工夫とでも言うのでしょうか、そうしなければ無理だったと思います。

大人だけれど、大人の域まで心が成長しきれていないのだと思います。先輩の先生には、「休めるときは休まない」と気遣いの言葉を頂くのですが、「どっぷり休める強さがあったら休みますよ」というのが本音でした。

いま、校長を任せていただいている立場なのに、人並みに仕事をするためにこんな工夫が必要でした。ましてや心身ともに発達過程にある小学生なら、切り替えにエネルギーが必要なのは当然です。生活習慣がボロボロに崩れていても、宿題ができていなくても気にしない、人のことより自分最優先という図太さがあれば、ある意味よいのですが、登校が辛くなってしまうようなタイプの児童もいるでしょう。子どもですから仕方ありません。

そこを分かってやって優しく接してやるのがよいのか、そこを分かっているからこそ厳しく接してやるのがよいのか、非常に難しい問題です。

不登校の高校生をたくさん担任していた十数年間、夏休み明けの彼らへの接し方が正直分かりませんでした。各々に来られない理由があり、家庭環境があり、夏休みの出来事があるのですが、長い夏休みの期間、会っていないのですからそれらをすべて知りません。

分からない中やっていた指導法が、自分も同じ弱さをもっていると正直に伝えることでした。その上で、無抵抗に弱さに負けていては、社会で通用しない人間になってしまうと話しました。

明日の始業式、心元氣よく登校できること、そして26日(土)27日(日)の過ごし方、よろしくお願いします。いちばん近い保護者をお願いしますが、それはできる範囲で結構です。

高校生ではない小学生、心の成長を支援してやるのが大切なのかなと思います。

2学期、毎日を「楽しく」、そして「カー杯」活動するために、大切な3日間だと思っております。

### 9月1日より、枚方市全体で対応が変わります

6月2日(金)の大雨時の対応及び近年の気象状況の変化を考慮し、登校後に警報や避難指示が発表、発令された場合についての対応を、下記のとおり変更すると枚方市教育委員会より連絡がありました。(別紙-8.25配付資料を参照のこと)

【登園・登校後に発表された場合】

改訂前	改定後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園は保護者の方にお迎えをお願いする連絡をしますので、よろしくお願いします。</li> <li>・小学校は地区ごとに集団下校を、中学校は複数生徒による下校をします。</li> <li>・雨量、通学路等の状況を勘案し、各学校園に待機する場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>原則、各学校園に待機します。</b></li> <li>・幼稚園は保護者の方にお迎えをお願いする連絡をしますので、よろしくお願いします。</li> <li>・学校が雨量の状況をふまえながら、通学路の安全確認を行うとともに、土砂災害警戒情報や避難指示の発表、発令の諸般の事情を勘案し、子どもの安全の確保が確認できましたら、<b>小学校は引き渡し下校</b>を、中学校は複数生徒による下校をします。なお、下校開始時刻等は、学校よりミルメール等でお知らせします。</li> </ul>

校長通信650号にて、お知らせした本校保護者のご意見「なぜ学校を休みにしとかないんや、大人でも大変な雨のなか子どもを下校させるのか、何かあったらどう責任とるんや」ですが、ごもった意見でした。おそらくは他校保護者からも、同様の意見が委員会に寄せられたのだと思います。

この変更により、全児童保護者引き渡しとなりました。以前からお伝えしている通り、引き渡しについては、本校PTA配布保護者証(名札)の確認を徹底しなければ、児童の安全を確保できません。緊急時を考えた保護者証(名札)の保管方法をご準備ください。また、保護者証(名札)を持っているだけでは、即座に確認できません。全校478人の引き渡しを行わなければなりません。お声かけをして名札を確認しなければならない、そんなわずかな時間も子ども達の大きな負担となって返っていきます。来校の際は、見えやすいように首にかけて着用してください。

また登校以前の段階で、お子様の安全が脅かされると思われるときには、保護者の判断で登校を見合わせてください。学校としては、枚方市の基準に沿って対応せざるを得ません。その点も、ご理解ください。

### 今年も全国大会に出場した児童がいました

夏休み期間中の8月8日(火)、東京武道館で行われた全国少年少女空手道選手権大会・4年生(形の部)で4年1組 高野 翔永さん、1年生(組手の部)で1年3組 西村 橙哉さんが、それぞれベスト16まで勝ち上がりました。

おめでとう!

